

学校の教育活動を支援～子供たちの基礎的・基本的な学力の定着を目指し、自主学習の習慣づけを図る～

京都府京都市

活動名

久世西小学校放課後まなび教室

関係する学校

京都市立久世西小学校

活動区分	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
学校支援 地域本部				
放課後 子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	21人	158日	有
	実施場所 図書館		開始年度	放課後児童 クラブとの連携
		20年度	有	
コミュニティ・ スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
その他				

※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況)

活動の概要

○放課後における児童の自学自習を中心とした学習習慣の定着と安心安全な居場所の充実を図るため、平成20年度に開設した。

- 学校の授業期間中は、月～金曜日の週5日実施。
- スタッフは、元PTA役員など、主に卒業生の保護者で構成されている。
- 現在は、学校の教育活動を支援する取組として、宿題や予習・復習を始め、プリント学習の他、簡単な工作や手芸なども日常の活動に取り入れている。
- 日常の学習の流れは、宿題・プリント学習・自主学習の順で進めるように習慣づけをしている。
- 週に1回、スタッフによる読み聞かせも実施している。
- また、夏季休業中は、工作教室、理科実験教室、親子で参加できる行事などを開催し、児童が楽しみながら学べる活動を企画している。
- スタッフ会議を月に1回開催し、教室の運営や児童の状況等について、情報共有を図っている。

特徴

【特徴的な活動内容】

- 放課後まなび教室を、学校の教育活動を支援する取組としてはっきりと位置付けている。
- 教室で使用する学習プリントは、教員と連携しながら、各学年の進度に合わせて、スタッフが準備している。
- 図書室で実施していることもあり、週1回スタッフによる読み聞かせを活動の中に取り入れている。
- 夏季休業中には、理科実験教室、エコ工作、音楽教室など、普段の活動ではできない楽しみながら学べる企画をスタッフが工夫を凝らして実施しており、子供たちも、楽しみながら集中して取り組んでいる。

【実施に当たっての工夫】

- 担当者が日によって交代するため、参加児童に対して、教室として一貫性を持った支援ができるように、スタッフ間の連携を常に心がけている。
- 毎日、参加児童の状況(健康面・精神面)を出席時に挨拶を交わす中でおおむね把握して、それ以後の学習活動が円滑に進むように特に注意している。
- 集中して学習に取り組めるよう、予め机に児童の名札を置いて、指定席にしている。
- 児童が学習プリントを仕上げたら、シールが貼れるような「がんばりカード」を作成し、児童の学習意欲を高める工夫をしている。
- 前述のシールがたくさん集められた児童、皆勤・精勤の児童には、年度末に賞状を渡し、達成感を味わえるような工夫をしている。
- 登録希望の保護者には、「放課後まなび教室」の趣旨を事前にしっかりと説明し、学童クラブとの違いなどを理解したうえで、登録してもらうようにしている。

事業を実施して

- 宿題をしっかりと仕上げる習慣が身に付き、学校の教育活動に大きなプラスとなっている。
- 児童と地域住民との人間関係が以前より近くなり、学校外でもよい影響を与えている。
- 保護者にスタッフをしていただくことで、子供が卒業しても、地域住民という立場から学校の応援団として関わってもらえることができている。

その他

- 「放課後まなび教室」を通して、児童と地域住民との人間関係が深まり、学校の教育活動が、今まで以上に保護者・地域に理解されてきている。



普段の活動の様子



夏休み/理科実験教室



がんばりカード



夏休み/エコ工作教室